

ランピースキン病が家畜伝染病に指定されました

ランピースキン病は、牛の皮膚に病変等が生じる病気です。

海外での発生が継続しており、令和6（2024）年11月6日、福岡県の乳用牛農場で、我が国初の感染を確認されました。主に吸血昆虫により感染しますが車両や人も病原体を運ぶ可能性があります。

ランピースキン病とは

- 皮膚の結節や乳量減少
- 主にサシバエなどの吸血昆虫による伝播により感染する
- 致死性は低い
- ワクチンはあるが、原則、発生農場等で使用（予防的なワクチン接種は行わない）
- 有効な治療がない
- 人に感染せず、畜産物も安全！
- 発生した場合は発症牛の殺処分や移動制限される



皮膚病変



発症牛の後肢



全身性の結節

海外の発生状況

- 海外で発生が継続しており、国内での発生・まん延リスクは依然として高い



※令和7年11月25日現在



車両がウイルスを運ばないために

- 農場に出入りするすべての車両は洗浄・消毒・殺虫を徹底する
- 車内に入り込んだサシバエなども確実に殺虫！
- 資材にもサシバエなど入り込む可能性があるため、搬入時確認する

人がウイルスを運ばないために

- 農場ごとに専用の衣服・長靴（ブーツカバー）交換の徹底する
- 注射針・人工授精器具等は確実に1頭ごとに交換または消毒する
- 皮膚に接触する器具も適切に消毒

感染拡大防止を徹底し、農場から農場への伝播を防止しましょう

異常牛を発見したら…

- 異常牛を発見したら、直ちに家保に連絡しましょう！

青森県西北農林水産事務所 つがる広域家畜保健衛生所

TEL: **0173-42-2276**

FAX: 0173-42-6087

夜間・土日祝祭日の場合 家保携帯: 090-8788-7459